

臨時国会にむけて 労組、民主団体と懇談

国会
議員団



9月19日、日本共産党国会議員団は、臨時国会の召集日を1週間後にひかえ、労働組合や民主団体との懇談会をひらきました。

はじめに、予想される安倍政権の性格をどう見るか、与野党各党の動きと党の対応についてなどが、議論になりました。論戦とたたかいたいの最大の焦点となる教育基本法改悪案についても、あくまでも廃案をもとめて広範な国民的な運動を広げていくことで、意見交換をおこないました。

全教、都教組、新日本婦人の会、農民連、保団連、生健会など多くの組合・団体が参加し、臨時国会を正念場と位置づけ、共同のたたかいを広げる決意が、会場にみなぎり

佐々木議員 全税関労働組大会 で連帯の挨拶

9月15日、佐々木憲昭議員は、全税関労働組合の第69回定期大会で連帯の挨拶をしました。全国各地の税関の職場では、現職死亡が増加(今年に入って12名)し、「心の病気」になる職員が増えるなど健康破壊が広がっています。それは、「総人件費削減」のもとで、長時間過密労働や適材適所を無視した人事、差別政策、目標管理による非人間的な競争導入が原因です。

佐々木議員は、誕生しようとしている安倍内閣の特徴が、改憲、民活、経済成長などの目標を掲げ、官邸主導を強めようとしている点にあること、そしてその背後に財界戦略があることなどについて話をしました。

井上さとし
参院議員

臨時国会の開会前、 時間を惜しみ精力的に活動

9月9日、津島市で「党を語る会」、豊橋で自立支援法シンポジウム、10日、「赤旗信州秋まつり」で決意。参加者と交流。4千人が参加。

11日 臨時国会に向け国会議員団勉強会、日本映画復興会議

党の訪韓報告

12日、国会議員団勉強会

13日、党史を学ぶ、市田書記局長と臨時国会にむけ協議

14日、新潟へ。並行在来線を将来も維持可能にする要求で国土交通省北陸信越運輸局と交渉、水原郷病院、「ゆづきの里」作業所訪問・懇談、版画家の小林春規さんを訪問、新発田民商で懇談

15日、論戦会議、四日市で演説会、名古屋市南区で演説会

16日、長野「九条の会」交流会で国会報告、松代大本営視察

17日、愛知で事務所開き。刈谷市で党創立記念集会

18日、京都へ。カシナガ駆除の行事。伏見で街宣

19日、書記局会議、日本映画復興会議、国対、教育基本法論戦検討会、議、労組・民主団体との懇談



長野「9条の会」交流会で国会報告する員井上参院議員(16日)

瀬古元議員、豊橋の障害者 シンポの総括会議に参加



9月13日、瀬古元衆院議員は、9日に愛知県の豊橋市でおこなわれた障害者自立支援法シンポジウムの党の総括会議に参加しました。主催した党東三河地区委員会は、今回のシンポジウムにあたって、6回の実行委員会をもち、合計26人の実行委員体制でとりくんできました。その中、重度障害者の渡辺たけしさんは不自由な体で15人に訴え5人に参加してもらったそうです。